

俳句作りの手引

1 俳句作りの基本

- (1) できるだけ五・七・五の十七音のリズムに乗せて表現する。
- (2) 季語(季節を表す動植物・生活・自然などの言葉)を一つ入れて作る。
- (3) 見たもの、感じたことなどをすなおな言葉で表現する

2 俳句を作るには

- (1) 自然や生き物の観察、家族や友達とのできごとの中で、はっと感じたことを心にとどめ、
- (2) 季語を入れて、五・七・五のリズムに乗せて表現してみましょう。

3 具体例

最近の櫓山荘子ども俳句大会での入賞作品を紹介します。

- ・燃える火よ今年も忘れぬ**原爆忌**
- ・ケンカしてあきかんけった**夏**の午後
- ・空みあげ今か今かと**流れ星**
- ・**夏**の夜水面にうつる小倉城
- ・父さんと竿を並べた**夏休み**
- ・**夏**の浜築いた王国さらう波
- ・遠賀川水面にうつる**雲の峰**
- ・祖母の出す**水ようかん**を懐かしむ
- ・祖母の家たたみの上で**昼寝**する
- ・パリ五輪世界の平和願う**夏**

以上の作品を見て、決して俳句は難しいものではないとおわかりいただけることと思います。

太字は季語です。次のページに季語の一覧がありますので、参考にしてください。

4 最後に

家族や友だちと過ごした体験をぜひ俳句にしていだきたいと思います。子ども俳句大会への応募をよろしく願いいたします。